

伐採樹木を子ども遊具に



神戸産広葉樹を活用

神戸市では、2023年3月末に閉園した約100haの西神戸ゴルフ場を産業団地として造成するため、樹木の伐採を進めています。伐採される樹木の多くは、コナラをはじめとする広葉樹です。国産広葉樹は流通サイクルが確立されておらず、利活用が進んでいません。

そこで神戸市では、ご寄附(裏面にご案内)を得ながら、子どものための遊具を製作し市内の子育て施設に設置・配布することで、伐採木を有効活用する取り組みを進めています。



▲遊具の制作風景



木育ワークショップの開催

子ども遊具を設置する予定のこべっこランド(兵庫区)で、遊具の部品づくりを体験していただく木育ワークショップを、2025年12月14日(日)に開催しました。

子どもたちが手に持つて遊べる小型遊具を収納する箱に取り付けるプレートに、KOBE WOODの焼き印を入れるお手伝いをしたり、お土産のお箸を紙やすりで磨いてコメ油で仕上げるなど、西神戸ゴルフ場産の広葉樹(コナラ・アベマキ)を手に取つて触れ親しんでいただく貴重な体験となりました。

完成した遊具にどのようにプレートが取り付けられるのか楽しみです。

KOBE WOODとは 神戸の森林・里山・まちを未来につなぐことを目的として、神戸市内の森林管理や都市整備で搬出された自然資源の活用を促進するために誕生した、神戸市産の木材等に関するブランドです。

設置・配布場所とスケジュール

- 室内にも置ける小型のすべり台1基を試験設置中(こべっこあそびひろば六甲アイランド)
- アスレチック要素のある大型遊具7基は2026年3月末頃に、
- 積み木や引き車など手に持つて遊べる小型遊具133セットは2026年6月末頃に、
- ◆こどもっとひろば(児童館)◆こべっこあそびひろば◆おやこふらっとひろば◆こべっこランドなどに設置・配布します。

今回のプロジェクトのポイント

① 子育て支援

- 伐採木を用いたこども遊具での木育
- 児童館等の設備充実による子育て世帯の交流支援



② 木材の有効活用

- 木材活用のリーディングケース
- 「こうべ森と木のプラットフォーム」との連携



③ CO2排出量削減

- 丸太160本分を遊具にすることで二酸化炭素約26t分の炭素を遊具として固定(25mプール26杯分に相当)



神戸市ではご寄附を通じた、地方創生やSDGs達成に向けた協賛企業・団体を募集しています。

神戸市は「SDGs貢献都市 神戸」として、現在活用できていない資源を有効活用し、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを進めています。

今回の事業は木材活用のリーディングケースとしたいと考えています。

ご寄附いただいた企業・団体は、当市ウェブサイトでのご紹介だけでなく、製作したこども遊具に企業・団体名を掲載します。ぜひお力添えをいただけますと幸いです。

受付は2026年2月末まで

寄附額	寄附のお礼
10万円～	▶ 市HP・PR映像への企業・団体名掲載 上記に加え
30万円～	▶ こども遊具に企業・団体名掲載
100万円以上	▶ 上記に加え 感謝状の贈呈

これまでにご寄附いただいた企業・団体(申込順)

TC神戸不動産株式会社

nichifutsu SHOJI CO., LTD.

HIWIN®

寄神建設株式会社

Iwatani

KOBE ANIMAL KINGDOM
神戸どうぶつ王国

KOBE-SANDA
PREMIUM OUTLETS®
MITSUBISHI ESTATE・SIMON

KOBOSHA
Emergency Management

株式会社アスル

诚进堂

